

# 戦争を記憶にとどめる夏 今年もまた映画会

会場 柳沢公民館視聴覚室 (西武新宿線西武柳沢駅南口徒歩1分)

## 圧殺の海 沖縄・辺野古



カヌー先に鉤のついた棒でカヌーを確保しようとしている海上保安庁の保安官



キャンプシュワブゲート前で、「ここに基地が出来たら、あなたたちも、私たちも、みんな一緒に(戦争で)死ぬんだよ」と機動隊に抗議する辺野古の住民、島袋文子さん

2014年7月1日、安倍首相が集団的自衛権を閣議決定した同日に、辺野古の新基地建設が着工された。巡視船やゴムボート、特殊警備艇、警戒船など、最大80隻にもなる船で埋め尽くされた辺野古の海。反対する人々を力づくで抑え込みながら、有無を言わず工事をすすめる日本政府。海で、基地のゲート前で、毎日、激しい攻防が続けられている。

現地で闘う市民たちと森の映画社が協力して、辺野古の“今”を伝えるドキュメンタリー映画を作り上げた。

藤本幸久・影山あさ子共同監督作品。

2015年 森の映画社 (109分) (写真提供 森の映画社)

8月15日(土) 3回上映

14時/16時半/19時 (開場30分前)

鑑賞券\*当日 一般1,000円/シニア・障がい者・高校生以下800円 \*前売券800円

## ハーツ・アンド・マインズ ベトナム戦争の真実



1974年5月、カンヌ映画祭でワールドプレミア上映され、大反響。翌75年3月アカデミー賞最優秀長編ドキュメンタリー賞受賞。

反戦運動をさらに激化させ、無意味な戦争にとどめを刺したともいわれるドキュメンタリー映画の最高傑作。

監督：ピーター・デイヴィス 1974年アメリカ映画。(112分)

入場無料  
申込不要

8月23日(日) 14時上映 (13時30分開場)

毎年8月、戦争に関係する映画を上映し、反戦平和についての思いを深めています。戦後70年の今年、反基地の闘いの最前線にある「沖縄」の今をもっと知るために、ベトナム戦争終結40年の今年、ベトナム戦争の実態を改めて知るために、2本のドキュメンタリー映画をぜひ、ご鑑賞ください。 2015年夏

主催 市民自治井戸端会議 & 日の丸・君が代ネットワーク

前売等連絡先: 柳田 Tel/Fax 042-461-3246 E-mail y.yanagita@nifty.com 牧子 Tel 042-467-3854(夜間)